

## 2022 年度研究助成（2 年助成） 研究実績報告書

代表研究者	平出 敦
研究テーマ	感染防護研修の普及およびワクチン接種ボランティア支援活動のアウトカムに関する検証

### I. 研究の背景と概要

#### 研究の背景

新型コロナパンデミックでは、急速な感染拡大に対抗するために各地でワクチン接種を広くスピーディに実施することが求められた。しかし、医療過疎地域では限られたスタッフで接種を進める必要があった。特に奈良県山添村では窮状をメディアを通じて広く訴えていた。そこで医療関係者により設立された NPO われらはふるさと医療応援団が中心となり、ボランティアとして支援に入った。2021 年度には JR 西日本あんしん財団の活動助成を得てこの活動を推進した。今回の研究は、2022 年～2023 年にかけて、そのアウトカムを検討した研究である。

#### 研究の概要

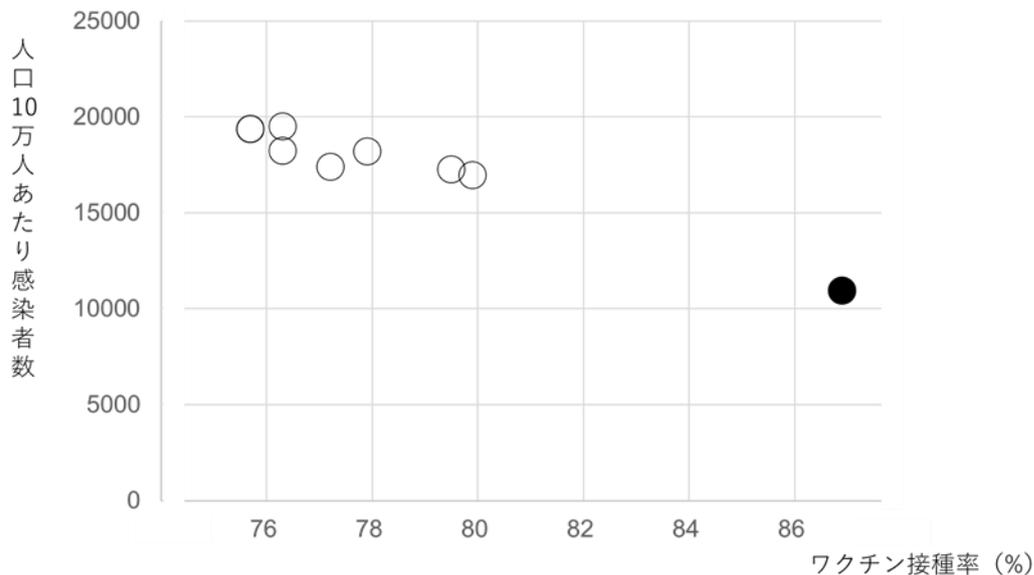
山添村のワクチン接種率は周囲の地域より上昇したか、その結果、新型コロナウイルスへの感染率は低下したか、の問いを中心に検討した。行政から公表されているデータを活用するとともに、山添村を管轄する奈良県郡山保健所の業務のボランティア支援も行い、積極的疫学的調査等も通じて地域の感染の状況を把握した。

### II. 研究の成果

#### 研究の成果

ワクチン接種ボランティア支援に入った山添村では、2 回目接種率が全人口で 86.2%に達した。下記の図のように奈良県大和郡山保健所管内の他の市町村と比較して、接種率は高く感染率は低かった。ただし、低い感染率について、ワクチン接種以外の影響も考慮される（●が山添村、○は他の市町村）。

奈良県大和郡山保健所管轄内市町村のワクチン接種率と年齢調整感染率  
 （ワクチン接種率は2回目2021年11月まで、感染率は2022年8月までの累積）  
 （年齢調整 2015年を基準）



ワクチン接種は山添村では円滑に実施された。アナフィラキシー等で救急対応するケースもあったが、支援に入っていた救急専門医により、迅速で安全な対応が行われた。また、今回のワクチンは特に希釈に配慮が必要であったが、薬剤師たちの手によるワクチン調製が安全な接種に寄与した。こうした安心できる接種体制を継続できたことや、感染防護の研修を推進したことなどが接種率の向上と、感染率の低下に影響を与えた可能性がある。